



教育委員会より

「多久から発信！SDGs」

「給食を通してできること」

SDGs(持続可能な開発目標)の目標2は「飢餓をゼロに」です。この目標は2030年までに世界中の飢餓をなくし、すべての人々が十分な食料を得られるようにすることをめざしています。現在、世界には約8億人の人々が十分な食料を得られず、飢餓に苦しんでいます。

一方で、私たちは毎日不自由なく暮らしています。日常生活の中で「飢え」を感じることはありません。それどころか食料が消費されずに捨てられています。

日本の食料自給率は約38%で、食べ物の半分以上は海外からの輸入に頼っています。私たちは食べ物を通じて世界とつながっています。

飢餓をなくすために、私たちにできることとはなにかと学級で話し合い、給食で「残菜ゼロ」に取り組みました。

「残菜ゼロ」は、日本や世界中の農家や農園で働く人が思いを込めて作った食べ物を無駄にしないということです。

この小さな取り組みが「飢餓をなくす」ことにつながり、私たちが暮らす地球の未来をより良くすることができると信じています。



東原庁舎東部校

7年1組  
古賀 咲花

連載

紫式部・和泉式部・小式部の物語 挿絵(10)

多久家資料「小しきぶ小式部」を編集

『小式部(下)』挿絵10 小式部が活躍する話(1)



住吉御幸に和泉式部は姫を伴いました。なぎさの鳥や水鳥を射る様子を詠めと宣旨がありました。



小式部は平安時代中頃の歌人で「小倉百人一首」にも和歌があります。和泉式部について一条天皇の中宮藤原彰子に仕えたため、小式部と呼ばれたとされます。藤原公成の子を出産した際に二十代の若さで死去しました。

和歌の世界で活躍する契機となった物語が次に出てきます。御門が住吉(御幸)された際に、和泉式部も御供でした。その神社に参拝された時、千鳥、鶺鴒などの水鳥が海に浮かび、北面の武士が水鳥を狙う様子を見て「この景色を歌に詠んで献上せよ」と宣旨がありました。「挿絵10」和泉式部は姫を連れていたので、彼女に詠ませられるよう奏上したところ、帝が姫を召し出され、歌を詠むよう命じられました。

姫は、「千はやぶる神のいかきもあらぬともなみのうへにもとりあたりけり」千早ぶる神の斎垣もある訳ではないが波の上にも鳥居があった(鳥が居た)ことですよと詠みました。御門をはじめ公家や殿上人は度々に感嘆しました。すぐに御袖を下賜され、小式部の内侍と名付けられ宮中に召され、栄華に誇りました。十三歳の頃です。

その後、母の和泉式部は九世の戸(京都府宮津市文殊堂付近)へ参りたいて御殿をいただきました。そして、御堂を拝み、自分の逆修(逆修)塔を建て、土地を寄進しました。

注...生前に自分の死後の冥福を祈る法要を行うこと

※原本の挿絵は色絵になっています。郷土資料館に写真を掲示していますので、お立ち寄りの際にご覧ください。

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

◆ 何度でも弱い自分を受け入れて  
希望を信じまた立ち上がる  
野崎 隆幸

◆ 九本と一本のローソク 吹き消せと  
息子夫婦に指示さるる日よ  
尾形 節子

◆ 夫介護「頑張ったね。」とほめられて  
当たり前なのに得した気分  
梶原恵美子

◆ つけばよし着かぬも良しと挿し木せし  
椿が増えてとりどりに咲く  
川浪 信子

◆ しまい湯に入りてトロトロ癒さるる  
霜夜を渡る月の光見ゆ  
浦野 嘉恵

◆ 去年今年 流るる水の絶えずして  
武富 律子

◆ 唐津線 最終便の 聖夜かな  
おおやはな  
本村 則子

◆ 枯芒 ゆらして走る 一両車  
富樫 明美

◆ 雑踏に 吾を呼ぶ声年詰まる  
大石ひろ女

◆ 聖堂の ステンドグラス 枯葉舞ふ  
大石ひろ女

◆ 才能に 努力を当てて 光らせる  
西山 残月

◆ 初日の 出磨いた窓が 額縁に  
田代えみこ

◆ 寒空に 戸を開けて待つ 福の豆  
小副川ヨシエ

◆ エコー 検査すべて見通す 腹の中  
田中 正春

◆ 二次会で心開いてしゃべり出し  
松下 修

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

川柳 《多久川柳会 互選》